

年中組

劇遊びに出てくる遊びが、いつも子どもたちがやっている遊び（なわとび・バルーンなど）で、いつもの様子も見られることができ“幼稚園で楽しく遊んでいるんだ”ということがよく伝わってきました。
何より、“やらされている”のではなく、子どもたち自身が楽しんでいるのが良かったです。



自分の劇だけでなく、他のクラスの劇の話もたくさん話してくれていました。こんなところが面白いんだ〜と、演じるのも見るのも楽しんでいるようでした。
自分たちの劇については、みんなで相談して、だんだん劇が完成していくことや、楽しさを、どこか誇らしげに話してくれていました。自分たちで作っているんだという気持ちが伝わってきて、すごいなぁと感じていました。



本当に本当に、みんな素晴らしかったです。あんな立派にやり遂げて、全てのしぐさ、一瞬一瞬に感動しました。
それぞれの個性も垣間見れて、いい仲間なんだろうな〜と、毎日の幼稚園生活の充実っぷりを感じました。



幕が上がった時、クラスみんなの表情が、わが子も含めて、とーってもいきいきしていて、楽しそうな、嬉しそうな、照れていたり、ドキドキワクワクが伝わってきて、こちら胸いっぱいになりました。
みんな一生懸命に声を出したり、踊ったり、全身で動物になり切っていたり、お顔まで、“おだんごぱん”になり切っ
て変えていたり！
それぞれみんなが思う動物や、おだんごぱんが表現されていて、のびのびなり切る姿に、とっても感動しました！



発表会の前から、「こ〜ね、こねこね」など、歌を歌ってくれて、とても可愛かったです。
前日の金曜日の朝、「今日って発表会だよ〜！！」といつもより早く元気に起きてきました。「発表会は明日だよ」と言うと、「ずこーん！」とずっこけていました。



昨年の本番では、ソワソワと動きなど控えめでしたが、今年は〇〇役になり切り、セリフも一生懸命に言っていて、堂々とした立ち振る舞いを見て、本当に感動しました。
子どもの一年って、本当に大きいですね。今年は、大丈夫かな？と正直少し心配していましたが、練習の時からもう意気込みが違っていました。
いつの間にこんなに大きくなって…と、舞台にいる我が子を見て感じました。

